

### 業績概要

## 全体的に堅調に推移、営業利益・経常利益も増益

- EMS事業におけるベトナム生産拠点設立等に伴う先行投資コストの発生があったものの、HS事業の国内需要が堅調に推移、PS事業における新規受注の貢献もあり、前年同期比で売上増、営業利益・経常利益も増益
- 四半期純利益については、前年同期は固定資産売却益（58百万円）、株式売却益（161百万円）の計上があったことに加え、当期は海外拠点における構造改革費用の計上（48百万円）等により、前年同期比では減益となったが計画に対しては想定どおり

売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
1Q実績	前年同期比	1Q実績	前年同期比	1Q実績	前年同期比	1Q実績	前年同期比
百万円 13,742	6.3%増	百万円 258	18.5%増	百万円 203	27.9%増	百万円 63	78.4%減

# 1. 2019年3月期 第1四半期業績ハイライト

- 四半期純利益については、前年同期は固定資産売却益（58百万円）、株式売却益（161百万円）の計上があったことに加え、当期は海外拠点における構造改革費用の計上（48百万円）があり、前年同期比では減益となったが計画に対しては想定どおり

(単位：百万円)	2018年3月期 第1四半期 実績	2019年3月期 第1四半期		
		実績	前年同期比	主なポイント
売上高	12,932	<b>13,742</b>	6.3%	<b>【経常利益】</b> 営業外収益 132百万円 (前年同期比 28百万円増) 営業外費用 187百万円 (前年同期比 24百万円増)  <b>【特別利益】</b> 0百万円 (前年同期比 220百万円減)  <b>【特別損失】</b> 48百万円 (前年同期比 47百万円増)
営業利益	218	<b>258</b>	18.5%	
経常利益	159	<b>203</b>	27.9%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	293	<b>63</b>	△78.4%	

## 2. セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2018年3月期 第1四半期 実績	2019年3月期 第1四半期		
			実績	前年同期比 売上高：％ 利益：金額	主なポイント
HS事業	売上高	4,060	4,524	+11.4%	ロジスティクス関連新会社や外国人技能実習生向け研修事業会社等の先行投資コストが利益圧迫要因となったが、需要は堅調に推移
	セグメント利益	148	99	△49	
EMS事業	売上高	6,287	6,422	+2.2%	ベトナム生産拠点の設立等によるコスト計上で前年同期比では減益となったが、工作機械関連需要や海外生産需要は堅調に推移
	セグメント利益	131	124	△6	
PS事業	売上高	2,583	2,794	+8.2%	既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期を脱し、新規受注の量産化が順次スタート、サンプル品出荷増もあり増収増益
	セグメント利益	20	158	+137	
調整額	セグメント利益	△82	△123	△41	当社（持株会社）に係る全社費用 *持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合計	売上高	12,932	13,742	+6.3%	
	セグメント利益	218	258	+40	

\* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

## 売上高

4,524百万円

前年同期比 11.4%増

## セグメント利益

99百万円

前年同期比 49百万円減

【事業母体】

日本マニファクチャリング  
サービスグループ



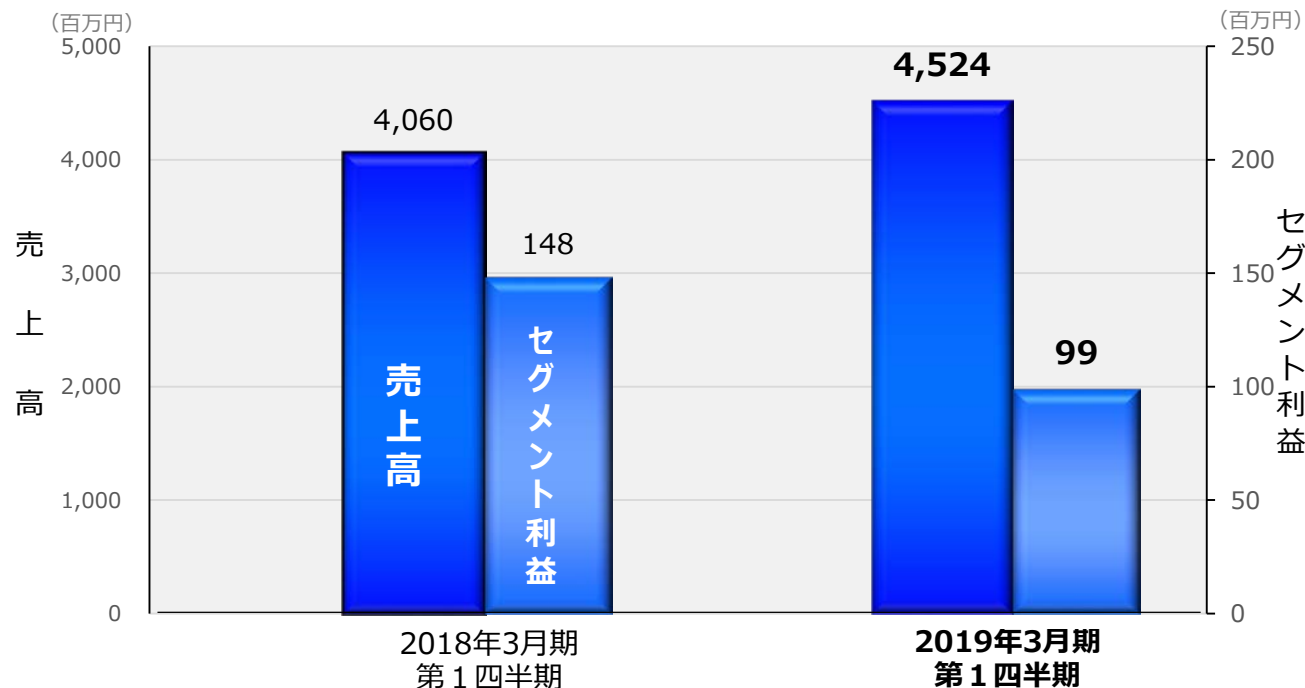
国内

- ・正社員化や外国人技能実習生の活用等により、採用力を強化、定着率向上
- ・利益面では、外国人技能実習生向け研修事業会社や物流3PL受託事業・テクニカル流通加工事業会社など先行投資コストが発生したことにより前年同期比で減益



海外

- ・中国における市場環境の変化、人件費高騰等が続いたが、海外現地における製造請負の展開を強化
- ・ベトナム、タイにおいてはグループ連携・リソースの活用等も行い、需要に対応するとともに、収益性向上への取り組みを推進



## 売上高

6,422百万円

前年同期比 2.2%増

## セグメント利益

124百万円

前年同期比 6百万円減

### 【事業母体】

- ・志摩電子工業グループ
- ・TKRグループ



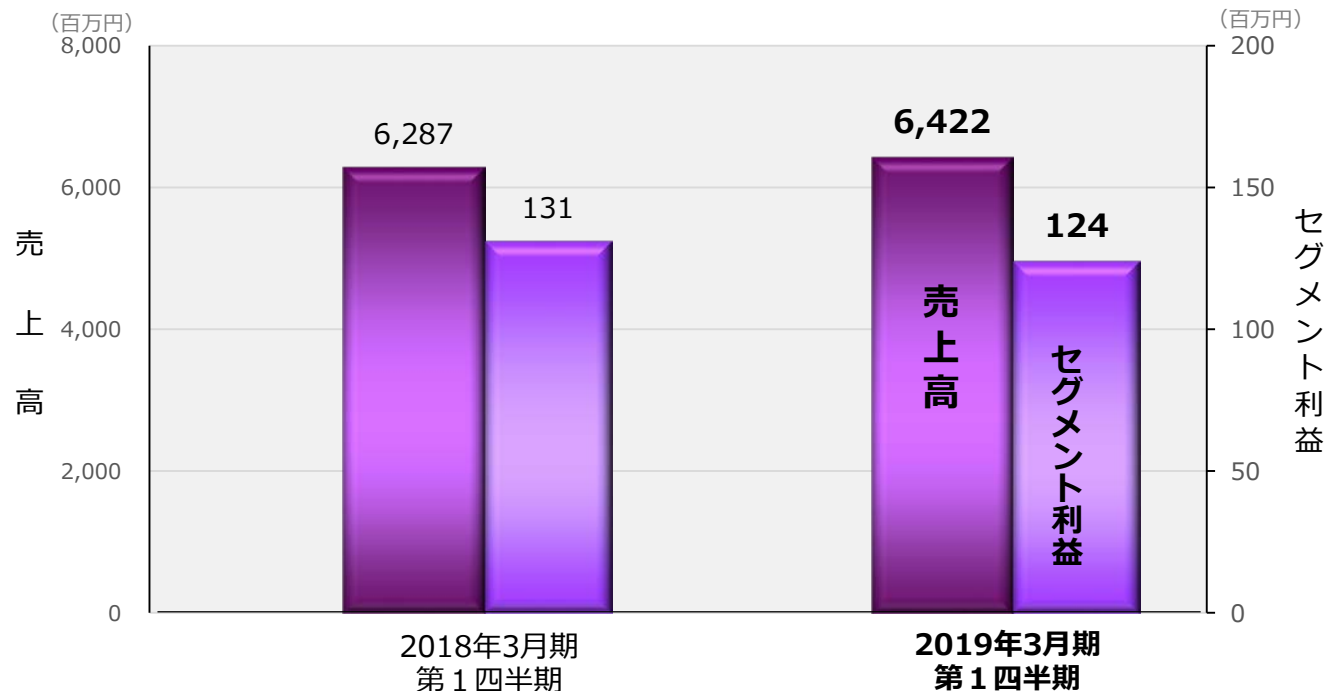
国内

- ・工作機械関連の受注が堅調に推移
- ・利益面では、重点施策であるベトナム生産拠点の設立や新規ビジネスの立ち上げ等によるコストの発生もあり、前年同期比では減益となったが、計画に対しては想定どおりとなった



海外

- ・中国、マレーシアの白物家電の生産需要が堅調に推移
- ・一方、今後の生産変動に備え、海外生産拠点における構造改革も実施



## 全体

- ・既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期を脱し、新規受注の量産化が順次スタート、サンプル品出荷増もあり増収増益
- ・これまで培ってきた電源技術を活かし「電池マネジメントシステム事業」を始動、リチウムイオン二次電池パックの受注引き合いが好調に推移
- ・その開発・製造拠点として2018年1月11日に「松阪工場」（三重県）を開設、量産開始も前倒しし2018年9月で計画
- ・「基盤強化」と「新製品開発・製造・拡販」の両輪で受注拡大をめざす

## 売上高

# 2,794百万円

前年同期比 8.2%増

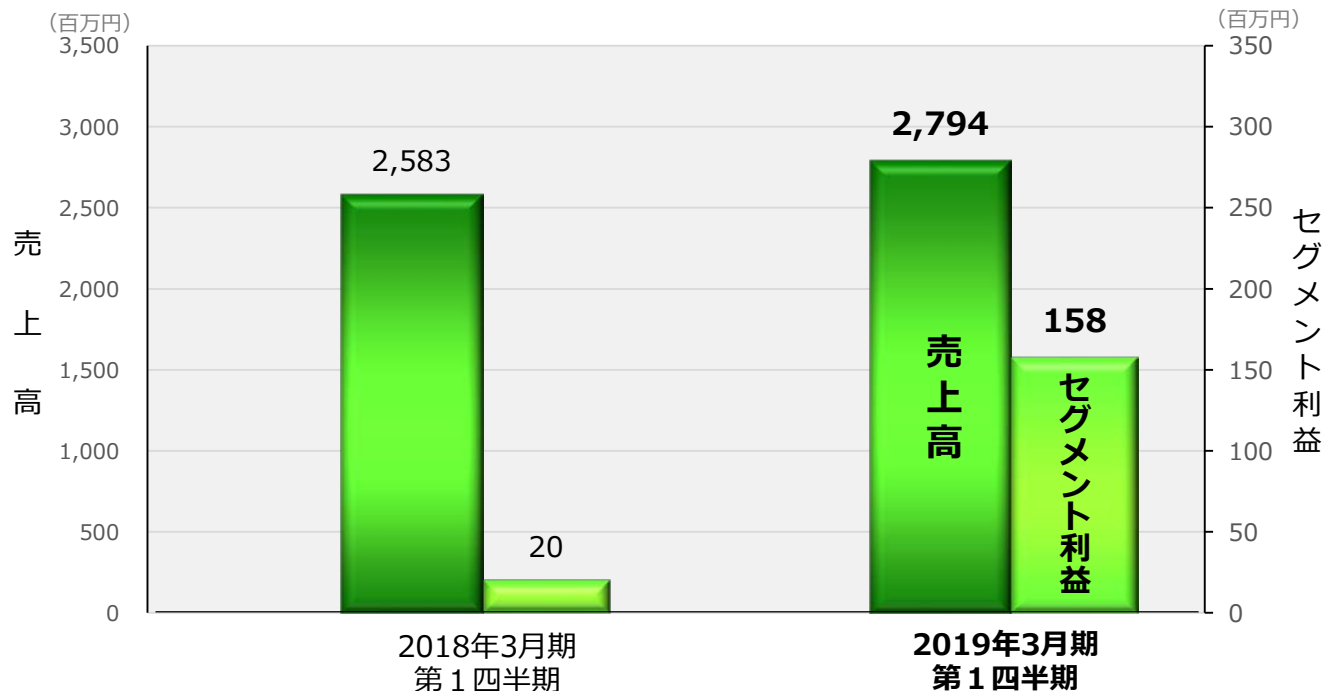
## セグメント利益

# 158百万円

前年同期比 137百万円増

### 【事業母体】

パワーサプライテクノロジー株式会社



### 3. 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2018年3月期末 (2018.3.31)	2019年3月期 第1四半期末 (2018.6.30)	増減	主なポイント
流動資産	20,434	<b>20,920</b>	+485	現預金 △169 売掛 +166 在庫 +188
固定資産	6,061	<b>6,955</b>	+893	
有形固定資産	4,505	<b>5,441</b>	+936	
無形固定資産	503	<b>516</b>	+12	
投資その他の資産	1,053	<b>997</b>	△55	
<b>資産合計</b>	26,496	<b>27,875</b>	+1,378	
<b>負債合計</b>	20,345	<b>22,035</b>	+1,689	
流動負債	13,584	<b>14,370</b>	+786	【借入金残高】 +2,858
固定負債	6,761	<b>7,665</b>	+903	18/6末 13,494 18/3末 10,635
<b>純資産合計</b>	6,150	<b>5,839</b>	△311	
<b>負債・純資産合計</b>	26,496	<b>27,875</b>	+1,378	

## 「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

これが私たちnmsグループのキーワードです。

3つの事業を組み合わせ、人材ソリューションから、効率生産を実現するEMS（製造受託）、さまざまな機器類の「安全・安心」を確保する電源製品の開発・製造・販売までお客様の多種多様なニーズにお応えします。

# HS

## ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を  
知り尽くした人材が  
日本やアジア各地域で活躍

**事業主体**

日本マニュファクチャリングサービス

# EMS

## エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する  
トータルソリューションを実現

**事業主体**

志摩電子工業  
テーケイアール

# PS

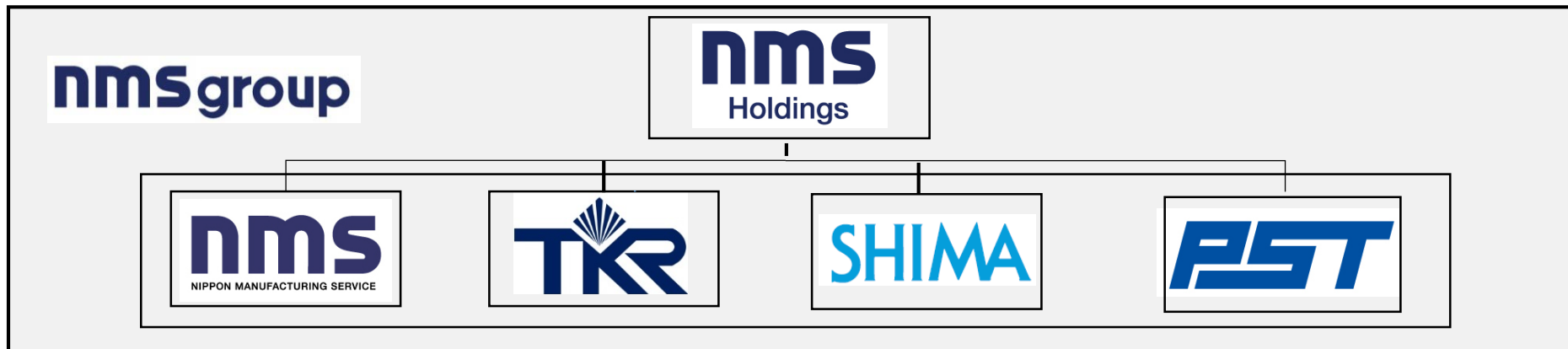
## パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で  
ワンランク上のソリューションを提供

**事業主体**

パワーサプライテクノロジー





主な連結子会社（（ ）内は各社決算期）	進出国・地域	主な事業内容
<b>ヒューマンソリューション事業（HS事業）</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本マニュファクチャリングサービス株式会社（3月）</li> <li>・株式会社日本技能教育機構（3月）</li> <li>・nms ロジスティクス&amp;テクニカルソリューション株式会社（3月）</li> <li>・北京中基衆合国際技術服務有限公司（12月）</li> <li>・NMS VIETNAM CO.,LTD.（12月）</li> <li>・nms (Thailand) Co.,Ltd.（12月）</li> </ul>	日本 中国 ベトナム タイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造派遣／製造請負</li> <li>・エンジニア派遣・エンジニアリング受託</li> <li>・テクニカルサービス受託（各種リペア・リワーク・解析等）</li> <li>・物流（3PL／流通加工）</li> </ul>
<b>エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス（EMS事業）</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社志摩電子工業（12月）</li> <li>・株式会社テーキアール（12月）</li> </ul>	日本 香港（中国） マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子機器製造受託サービス（基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立等）</li> <li>・省力化機器製造・販売</li> </ul>
<b>パワーサプライ事業（PS事業）</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーサプライテクノロジー株式会社（12月）</li> <li>・株式会社テーキアール（12月）</li> </ul>	日本 香港（中国）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カスタム電源（低圧電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売</li> <li>・マグネットロールの開発・設計・製造・販売</li> <li>・各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）開発・設計・製造・販売</li> <li>・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売</li> </ul>

## nms ホールディングス株式会社

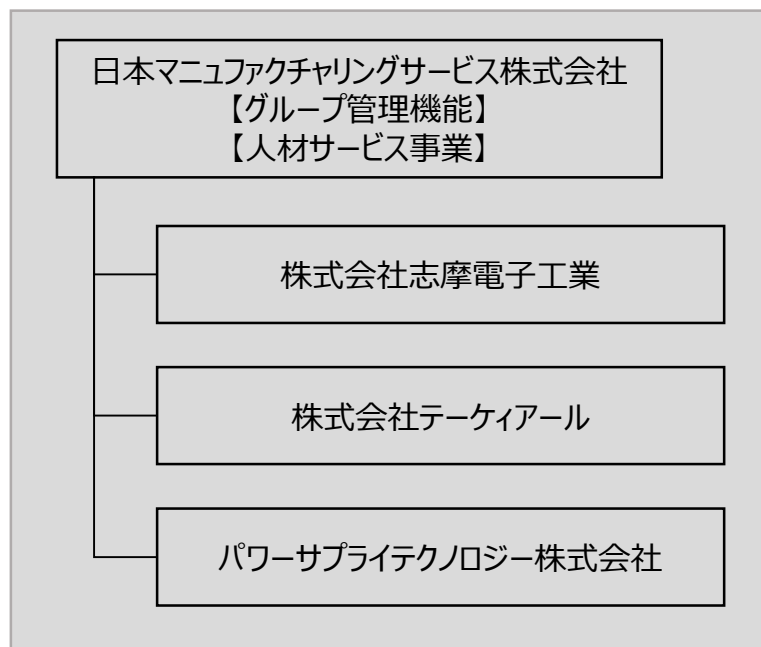
<http://www.n-ms.co.jp/>

商号	nms ホールディングス株式会社
本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2018年6月30日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社 株式会社志摩電子工業 株式会社テーケアール パワーサプライテクノロジー株式会社

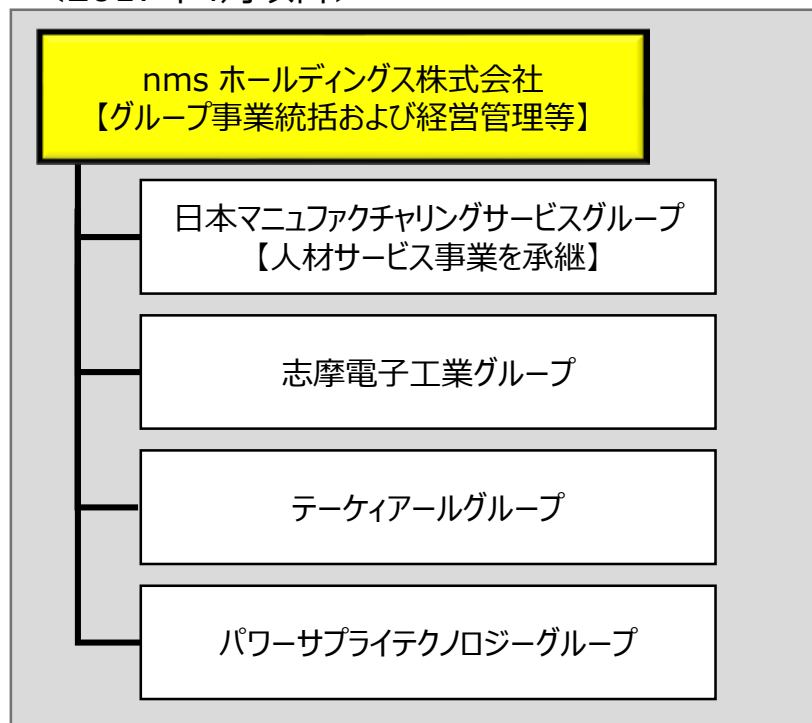
## 目的

グループ経営機能の強化、市場および事業領域拡大への機動的対応等

- 持株会社体制移行後のグループ経営体制



<2017年4月以降>



本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ  
nms ホールディングス株式会社  
広報・IR部 Tel:03-5333-1737  
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

